

2019年度 和歌山市立中之島小学校 スクールプラン(学校運営計画書)

校長名 馬場 秀典

作成日 2019年 5月14日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 子供が楽しく学校に通ってほしい。
- 教育活動や子供の様子を伝えてもらいたい。
- 仲良く助け合う子供を育ててほしい。

【学 校 教 育 目 標】

豊かな心と学ぶ意欲をもち、たくましく
生きる子供の育成

【めざす児童像】

- ・豊かな心情をもち、思いやりのある子供
- ・学ぶ意欲をもち、自らのめあて(課題)に向かって取り組める子供
- ・互いの良さに気づき個性を伸ばしていける子供
- ・心身共に健康な子供

前年度の学校評価

- ホームページの更新が滞っており、学校の様子がわかりづらい。
- 定期的に幼稚園や保育所と交流しており、心の優しい児童が育っている
- 運動の好きな子供が多い

児童の実態

- あいさつができる
- 友達と仲良くできている
- 時間を守って行動できる
- 掃除を一生懸命している
- 家庭学習の定着率は低い

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎授業力の向上
- 家庭学習の定着
- 読書活動の推進

豊かな心の育成

- ◎人権教育の充実
- ◎いじめの未然防止、早期発見
- 仲間づくりの実施
- 道徳の授業研究

健やかな体の育成

- ◎体育科教育の充実
- ◎基本的生活習慣の確立
- 運動好きの子供の育成
- 体力の向上

地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携充実
- ◎保幼小の接続、中学校区における学校間連携の推進
- 地域の資源活用の推進

具体的な取組

- 中之島タイムの充実を図る
- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を徹底した授業を行う
- 一人1授業の校内研究授業を行い授業力の向上を目指す
- 家庭学習の手引きを作成し活用するとともに、保護者と協力しながら家庭学習の定着を図る
- 読書習慣の定着を推進する

- 特別の教科道徳の授業実践の充実をはかる
- いじめアンケートを定期的の実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める
- 情報モラルやネット社会に潜む危険性について、保護者とともに学ぶ機会をもつ
- 縦割り活動や幼稚園、保育所との交流を計画的に行い、自己有用間の醸成をはかる

- 月1回金曜日の昼休憩を活用し、中之島チャレンジを実施。縦割りグループでドッジボールラリーなどにチャレンジし、体力の向上を図る。
- 「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する
- 運動遊びのできる環境整備を図る。

- 各種便り、HP等を通して積極的に学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開する
- 地域活動へ参加し、積極的な交流を推進し、多様な生き方を学ぶ
- 保幼小の接続・連携の推進・充実を図る。
- 授業のゲストティーチャー、読み聞かせボランティア、クラブ講師等の人材や、地域の自然・文化を積極的に活用する

指標

- ・全国学力学習状況調査や県学習到達度調査で県平均を上回る
- ・学校アンケート、「学習内容がわかり、基礎的学力が身についている」を79%→90%を目指す

- ・学校が楽しいと感じる(児童93%→100%)
- ・いじめの解消率100%
- ・各学年、学期に1回、幼小交流事業を行う

- ・朝ごはんを食べた(児童 93%→100%)
- ・体力運動能力調査で男女別種目別学年別で64種目→70種目以上の種目で全国平均を上回る。

- ・学校の様子がよく伝えている。(保護者83%→90%)
- ・学校と家庭はよく連携・協力している(保護者69%→80%)

◎：特に重点的に取り組むこと